

申請者名 花のあふれる〇〇地域会

事業名	〇〇地域の花の潤い実践事業	
事業区分	主となる区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
	関連する区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
総合5か年計画区分	主となる区分	201 魅力ある地域の創造と発信
	関連する区分	102 強みを活かした観光の振興
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード (該当項目に○印を記入)	
重点テーマ		
実施箇所	〇〇郡〇〇村 〇〇地区及び□□地区	
実施期間	事業開始年月日	令和2年 6月20日
	事業終了年月日	令和3年 3月10日
事業概要	<p>①事業目的</p> <p>〇〇村の〇〇地区と□□地区は、景勝地の〇〇があり観光客も多いことから、景勝地の周辺環境の向上が必要となっていた。</p> <p>このため、地域住民が協働で、花いっぱいのみちづくりに取り組み、花の潤いのある地域を築き、住民のこころの潤いと景勝地としての魅力を高める。</p> <p>また、複数地区の協働により実践することにより、地区を越えた絆を築き、地域への愛着や誇りを高める。</p> <p>なお、事業実施にあたっては、次代を担う若年層へのアプローチを強く意識し、日頃から地域活動に理解のある〇〇小学校及び△△中学校との連携を図った。</p> <p>②事業内容（モデル的で発展性のある事業である理由についても記載）</p> <p>1 花いっぱい実践活動</p> <p>景勝地の魅力を高めるため、〇〇地区及び□□地区住民により村道〇号線沿いに四季折々の花の植栽を行い、あわせてミニパークに四阿を整備した。</p> <p>時 期 令和2年〇月〇日～〇月〇日</p> <p>場 所 〇〇村〇〇地区・□□地区 約〇〇m</p> <p>参加者 延べ〇〇〇人（うち、小・中学生〇〇人を含む）</p> <p>2 「花いっぱいのみちづくりシンポジウム」の開催</p> <p>住民が地域のまちづくりを考える機会を設けるため、地域の取組の発表と実践者の意見交換を行った。</p> <p>開催時期 令和2年〇月〇日</p> <p>会 場 〇〇村□□会館</p> <p>講 師 〇〇〇氏、□□□氏、△△△△氏</p> <p>参加者 〇〇村民 約〇〇名</p> <p>その他 入場無料（〇〇財団助成事業）</p> <p>終了後参加者交流会を実施（会費2,000円）</p>	

○モデル的で発展性のある事業である理由

地域住民自らが実践し、まちづくりに参画する喜びを実感することにより地域に愛着を持つとともに、シンポジウムの開催を通じて「花によるまちづくり」の先進事例等に触れることで、住民意識の更なる向上が図れた点。

③事業効果（可能な限り数値化すること）

- ・花によるまちづくり実践者の増加 : 目標年度 R2 対 R1 比 10%増
実績 対 R1 比 15%増
- ・〇〇地区の観光客入り込み数の増加 : 目標年度 R2 対 R1 比 10%増
実績（2月末まで）対 R1 比 20%増

④広報表示（長野県 地域発 元気づくり支援金事業である旨の表示）

- ・沿道の植栽に「この植栽は長野県地域発元気づくり支援金を活用しました」と記載した立て札を設置。（別添写真参照）
- ・シンポジウムのプログラムの表紙に「長野県地域発元気づくり支援金活用事業」と記載。（別添写真参照）

⑤特記事項（合意形成、諸手続、住民の参画等、特に説明すべき事項を記載）

- ・県道〇号線沿いの美化清掃活動について、令和元年 11 月にアダプトシステムの協定を締結。今後は、建設事務所、〇〇村と協働して、活動を継続させていく。

記載例 1

※ 計画時からの変更箇所は、便宜上斜体で記載してあります。

◆実施内容別事業費内訳

区分	内容	積算（説明）	事業費 a	対象経費 b	補助率	支援金基本額 c (b × 補助率)	
ソフト事業	花いっぱい実践活動	苗代	@○円 × ○個 × ○回 = ○円	332,555円	332,555円		
		肥料代	@○円 × ○個 = ○円				
	シンポジウム	講師謝金	100千円 × 3人	300,000円	300,000円		
		交流会会食代	2,000円 × 90人	180,000円	0円		
	小計			812,555円	632,555円	3/4	474,000円
ハード事業	花いっぱい実践活動	四阿 原材料費一式 (別添設計書参照)	298,600円	298,600円			
	小計			298,600円	298,600円	2/3	199,000円
合計			(A) 1,111,155円	(B) 931,155円		(C) 673,000円	

※市町村等の事業は、対象経費(b)は特定財源を控除した後の額を記載する。(特定財源を控除する内容が未定の場合は暫定的に振り分けること。)

※支援金基本額小計欄は千円未満切り捨てとする。

◆実施内容別事業費内訳については、「別添のとおり」とし、同じ項目が記載された任意の様式で置き換え可
(参考 「記載例 2」)

◆特定財源内訳

特定財源	説明	金額
地方債		円
分担金・負担金・寄付金	交流会参加者負担金	180,000円
事業収入		円
助成金	〇〇財団より	100,000円
補助金	補助金名：〇〇市〇〇補助金	200,000円
合計		(D) 480,000円

◆支援金充当額

市町村等	総事業費 A	対象経費 B	支援金基本額 C	支援金充当額
	円	円	,000 円	,000 円
公共的団体等	総事業費 A	対象経費 B	支援金基本額 C	
	1,111,155 円	931,155 円	673,000 円	
		特定財源 D	自己財源 E (A-D)	支援金充当額 (CとEのいずれか少ない額)
	480,000 円	631,155 円	600,000 円	

※公共的団体等の支援金充当額は、支援金基本額(C)と自己財源(E)を比較していずれか少ない額とし、千円未満切り捨てとする。

CとEを比較して少ない額は631,155円ですが、交付決定額の600,000円を(添付書類) 超えてしまうため、充当額は交付決定額の600,000円となります。

- 1 事業実績図書(位置図、見取図、設計図、設計書等)
- 2 契約書、支出証拠書、給付完了検査書(写し)、写真等事業の実施がわかる書類
- 3 公共的団体については、会計簿・補助簿(収入も記載)、支援金専用口座通帳の写し
- 4 その他地域振興局長が必要と認める書類

※事業内容、事業費内訳等については別紙(様式任意)添付での対応も可

記載例 2

※計画時からの変更箇所は、便宜上斜体で記載してあります。

◆実施内容別事業費内訳

区分	内容	積算(説明)	事業費 a	対象経費 b	補助率	支援金基本額 c (b×補助率)
ソフト事業		別添のとおり				
	小計			円	円	
ハード事業		別添のとおり				
	小計			円	円	
合計			(A) 1,270,000	(B) 1,070,000 円		(C) 785,000 円

※市町村等の事業は、対象経費(b)は特定財源を控除した後の額を記載する。(特定財源を控除する内容が未定の場合は暫定的に振り分けること。)

※支援金基本額小計欄は千円未満切り捨てとする。